

恵那市清流の国づくり推進計画

平成 25 年 9 月

恵 那 市

1 はじめに

■計画策定の趣旨

岐阜県では平成24年に美しい清流に恵まれた私たちのふるさと岐阜県の爽やかな川の流れのように、人々が出会い、絆（きずな）を深める舞台となることを願い、「輝け はばたけ だれもが主役」を合言葉とし、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」が開催されました。

本市では、ぎふ清流国体のトップを切っただけの開催となったスピードスケート、本大会の最終競技となった弓道の二つの競技を開催いたしました。両大会を合わせて5万6,900人もの皆さまにご来場いただき、ぎふ清流国体を県下に向けて盛り上げる先陣とトリの役割、責任をしっかりと果たすことができました。

大会期間中には、大勢の市民の皆さまにボランティアや競技役員として大会に携わっていただきました。また、市内各地域からは市民観戦応援団への参加や特産バザーの出店など様々な面で大会を支えていただきました。

大会前の準備やPRにおきましても、団体のぼり旗の設置や花いっぱい運動、リハーサル大会や総決起大会、炬火リレーへの参加など、大会に向けての盛り上げに大変なお力添えをいただきました。

「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」の成功はこのような市民や関係者の皆さまの献身的なご支援、ご協力の賜物であります。この成果を一過性のもので終わらせず、今後の恵那市のスポーツ振興、まちづくりへと継承、発展させるべく本計画を策定いたします。

2 歴史文化と清流が織りなす観光交流都市

■計画の目的

恵那市が目指すまちの将来像、人・地域・自然が調和した交流都市とは、美濃岩村藩や中山道大井宿など数々の貴重な歴史や文化と、それにより培われた風土を守り育てながら、人との交流、人との触れ合いを大切にすることで市民はもとより、当市を訪れる皆さまの心のよりどころとなる交流と都市づくりを進めるものです。

中山間地を多く抱える当市においては、人口減少や少子高齢化に対応した地域づくりを進めていくことが喫緊の課題であり、その対策として他地域と差別化した魅力ある観光需要を生み出していく必要があります。

また、当市は昨年度初めて観光客数が400万人を超え、今後も観光客の増加を目指すためには、歴史文化や観光の地域資源をさらに魅力あるものにして、

あわせて「郷土愛をもったもてなしの心」で歓待していくことが必要です。さらには平成 39 年のリニア中央新幹線開業をチャンスととらえ、新しい観光客の獲得とその効果が市域全体に波及するようさまざまな事業を展開することが必要となってきます。

「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」を市民の皆さまのご支援、ご協力により成功させた経験は、恵那市にとってかけがえのない財産となりました。この財産を将来に引継ぎ、恵那市が目指す将来都市像「人・地域・自然が調和した交流都市」の実現を目指します。

本計画は 2 つの基本方針により構成されております。この方針に沿った取り組みを行う中で、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」で培った市民協働の経験を継承し発展させていくことを本計画の目的とします。

■計画期間

計画期間は平成 26 年度から平成 31 年度までの 6 年間とします。

3 基本方針及び具体的施策

基本方針① 魅力ある観光資源の発信

地域の自然景観や産業・文化を生かした魅力ある観光を振興するため、地域の個性的な観光資源などを磨き上げ活用するとともに、既存の観光地との連携、観光PRに努め、多くの観光客が訪れる個性豊かな観光地づくりを進めます。

また消費者ニーズに合った商品やサービスの提供を図るとともに、付加価値のある地域ブランド力の再構築により、魅力のある商店まちづくり、中心市街地の再生を図ります。

1-1 特色のある商店まちづくり

- ・みのりのみのり祭りやまちなか市など年間を通じた多彩なイベントの開催により「まちのにぎわい」を創出します。

1-2 観光PR事業の推進

- ・恵那市には、観光資源がスポット的に点在しており、観光客にそれらを回遊してもらい生かせるよう、観光協会と連携した観光物産展・イベントや観光のPR事業を推進します。
- ・JR主要駅にポスター掲出を行うとともに、デジタルサイネージを利用して都市部での観光PRを推進します。
- ・ゆるキャラを生かしたPR活動を行い、恵那市の認知度、好感度を高めま

す。

1－3 地域の観光資源のブラッシュアップ

- ・恵那峡の再整備を行ってにぎわいのある恵那峡に再生します。
- ・歴史的風致維持向上計画に基づき、中山道大井宿の修景保存事業を推進します。
- ・新しい観光資源の魅力を発信するとともに、既存観光地についても観光ニーズに対応した整備を推進します。
- ・外国人観光客も意識した案内サインを設置し、誘導機能の充実を図ります。
- ・笠周地域（笠置町、中野方町、飯地町）振興計画を策定し、人口減少や少子高齢化等の課題解決のため、笠置山周辺の魅力を最大限に引き出すことにより、笠周地域全体の地域振興を目指します。

1－4 恵那ブランドの育成、開発

- ・恵那ブランドして恵那栗や山岡細寒天を柱に商品の開発とPRを実施します。

1－5 身近な公園の整備

- ・豊かな自然環境を積極的に保全し、身近な公園、緑地整備を進め、憩いの場づくりを推進します。景勝地にはトイレを設置し自然環境保護に努めます。

基本方針② 歴史文化と郷土愛を育む人づくり

未来を担う子供たちが、心豊かでたくましく育つように、古くから郷土に受け継がれている文化財や伝統芸能に対する理解を深め、大切に保存・育成し、後世に伝承していきます。さらには市民が文化・芸術に触れられる機会を充実するとともに、文化関連施設の効率的な管理運営の検討を含めた施設の充実を進め、市民の文化・芸術活動の活発化を図ります。

3－1 市制10周年記念式典の開催

- ・市町村合併から10年の節目を迎える平成26年度に市制10周年記念式典を開催して、本市の魅力を発信し、郷土への愛着感の高揚を高めます。

3－2 文化・芸術活動の推進

- ・市民参加型の企画、イベントなどを充実させるとともに、各地域の個性や特色を生かした芸術文化、食文化の育成、PRを推進します。
- ・郷土の偉大な先人を敬い、佐藤一斎、下田歌子、山本芳翠、三好學に関する顕彰事業を実施します。
- ・中山道広重美術館では、木版画講座、版画コンクール等を行いながら、新

しいジャンルの企画展示を取り入れ、市民に親しみやすい企画を展開します。

3－3 伝統文化の継承

- ・生涯学習の視点を持って、郷土の地歌舞伎や太鼓などの教室、講座を実施し、伝統芸能への市民参加を促進します。

3－4 文化財の保護

- ・指定文化財や埋蔵文化財を保護し、その普及啓発を推進します。